

70th Anniversary



昭和30年4月1日に当時の松田町と寄村が合併し、現在の「松田町」となり令和7年4月1日で70回目の記念日を迎えました！



私たちのまち、
まつだをことば寿ぐ

昭和30年（1955年）、松田町と寄村が合併し、新制松田町としてスタートしました。『松田百年』をひもとくと、4月1日に開庁式と祝賀会が開かれ、余興の演芸大会や小・中学生の旗行列も行われたとのことで、町を挙げてのお祝いムードが伝わってきます。当時の人口は10,358人、世帯数は1,971戸だったそうです。

社会の出来事としては、自由民主党と日本社会党の二大政党制、いわゆる55年体制が始まった年で、「洗濯機・冷蔵庫・テレビ」が三種の神器と呼ばれ、高度経済成長に突入しつつあった時代です。

私が子どものころは、実はあまり寄に行く機会はありませんでしたが、私に寄の魅力を教えてくれたのは、亡き父でありました。他所で何かまちづくりの参考になりそうなものがあると、ヒョイヒョイ見に行く人でしたが、例えば軽井沢を見ても「寄の方がいいじゃないか」と言うくらい、寄が大好きだったようです。私は息子のアトピーで悩んでいた時期があり、息子だけでなく私自身も、寄の澄んだ空気と清らかな川の流れ、そして人の温かさにとだけ癒されたことでしょう。

「松田」と「寄」は一つの町として、それぞれの個性を失わず、その魅力を大切にしながら、70年ともに歩んで来ました。松田と寄を合わせて、日本国の約1万分の一。一隅を照らす気概をもって、これからも「私たちの町、まつだ」を輝かせていきましょう。

松田町議会議長 平野 由里子



共にツナグ
松田町の未来

本年は、松田町と寄村が合併し、現在の松田町となってから70周年を迎える記念すべき年となります。また、足柄茶が栽培されてから100年、松田町大名行列が発足して150年、中沢酒造創業200年、寒田神社創建1710年を迎える節目の年にもなります。それらを記念して、多くのイベントを開催し、町全体に「笑顔があふれる、よう取り組んでまいりますのでぜひ皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度の予算は、チルドレンファースト・ネクストと題し、「子ども・子育て世代が祖父母・ご両親と一緒に近くに住んでくれることで安心して暮らせるまちづくり」を目指し、さらなる子ども・子育て支援の強化を図ってまいります。本年度から新たに小・中学校の給食費と学童保育保護者負担金などの無償化を行い、子育て支援策として「8つのゼロ」を実施します。

現在、町の人口は、これまでの地方創生に関する取り組みが花を咲かせつつあり、減少のカーブがコロナ禍前と同様に緩やかになってきています。本年度は、巳年のいわれのように新たな挑戦に着手します。町民の皆さまの積年の夢「新松田駅周辺整備事業」の推進、子ども・子育て世代への支援、高齢者が安心して暮らせる松田町への未来を拓いてまいりますのでご期待ください。

松田町長 本小 博幸